

8) 外部への講師派遣・協力依頼

仲松由美子¹

キーワード：地域連携 人材育成 講演 講師派遣 外部団体 委員会 執筆

1. はじめに

当財団では、地域連携や人材育成を目的として県内外の学習施設や教育機関等から依頼を受け、当財団職員を講師として派遣、亜熱帯性動植物および海洋文化・琉球の歴史文化に関する調査研究の成果等の普及に取り組んでいる。

また、外部が組織する委員会への委員就任・外部団体主催事業への協力を行っている。

2. 令和6年度講師派遣等協力実績

1) 実施内容

亜熱帯性動植物に関する講演や、当財団が受託管理運営を行う中で培った知識や経験を基にする依頼内容となった。

講師派遣および各種委員会や協賛協力についての実績は以下の通り。

(1) 講師派遣

総合研究所の調査研究で得られた知見を基に、動物・植物・歴史文化・海洋文化等、各分野での講演会、発表、視察調査等の派遣が86件であった(表-1)。

動物分野では、サンゴ、ウミガメ、板鰐類(サメ・エイ)、鯨類を中心とした内容で、海洋ごみなどの環境問題に触れる講演や次世代人材育成を目的とした職業体験、科学イベントへの派遣も行った。

植物分野では、主に国内希少野生動植物に関する調査やヒアリング対応、老木調査など、市町村と連携した現地調査に対応した。

歴史文化に関する分野では、染料によるラミー糸(機械紡績苧麻糸)の染色技法の解説と実技、沖縄年中行事と食文化、琉球菓子についての講演を行った。

海洋文化に関する分野では、県外博物館における展示アドバイスや海洋文化館での展示解説依頼など財団管理施設の利用促進にも貢献した。

昨年度までは感染症対策のためにオンラインでの実施もあったが、今年度はほぼ対面での実施であった。

(2) 各種会議、委員会、協議会

外来種対策事業や沖縄県レッドデータブックの改訂など、世界自然遺産に関連する植物分野での参加や鯨類関連のプロジェクト等への参加など40件対

応した(表-2)。

(3) コラム執筆

琉球文化財等の歴史文化、希少植物の現状についての執筆を4件対応した(表-3)。

(4) 後援・協賛依頼

財団の管理施設のひとつ、「美ら島自然学校」のある名護東海岸地域で開催されるイベントへの後援協賛依頼が8件あった。

3) 今後の展開

講師派遣依頼による講演は、財団独自のノウハウや研究の成果を公表する場となる。その為、財団事業の認知度、社会的評価を向上させるための広報的事業として、さらに強化する。

3. 外部評価委員会コメント

子どもから大人までの一般向け、および研究者・学生・自然ガイド等専門家を対象に、沖縄の動植物や歴史文化の魅力、財団が行う調査研究成果などの情報を広く、野外観察や実験等の体験を含めて、講習会・講演会等の学ぶ機会を提供する社会貢献の高い事業である。各市町村の企画、教育委員会、調査研究機関などへの周知や連携を進めていくことが望まれる。加えて、成果の発表や資料の刊行も大いに広げていくことを期待する。

(池田顧問：琉球大学名誉教授)

¹ 普及開発課

表-1 講演・発表・視察調査等一覧

実施日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
4月7日	おきみゆー	企画展展示解説ツアー	おきみゆーで実施中の自主企画展「科学の眼で見る美ら海の生き物展」の会場を巡りながら展示物の解説を行った。		20
4月7日	おきみゆー	サイエンストーク「科学の眼で深海生物の謎にせまる」	科学の眼でみる深海生物をテーマにサイエンストークを実施した。		20
4月20日	沖縄県立博物館・美術館 講堂	博物館文化講座 展示づくりの舞台裏 ー船と民俗展示ー	沖縄県立博物館新館の展示工事について		57
4月21日	おきみゆー	企画展展示解説ツアー	おきみゆーで実施中の自主企画展「科学の眼で見る美ら海の生き物展」の会場を巡りながら展示物の解説を行った。		20
5月6日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(日本語)	航行中に見られる可能性のあるザトウクジラに関する基礎知識に関する講演(日本語バージョン)	約	40
5月6日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(英語)	航行中に見られる可能性のあるザトウクジラに関する基礎知識に関する講演(英語バージョン)	約	40
5月8日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(日本語)	日本近海に分布するイルカ・クジラの見分け方に関する講演(日本語バージョン)	約	50
5月8日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(英語)	日本近海に分布するイルカ・クジラの見分け方に関する講演(英語バージョン)	約	50
5月8日	熊本大学	発生医学研究講演	当財団が開発した人工子宮装置についての講演	約	30
5月11日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(日本語)	財団の取り組みザトウクジラの保全と調査研究に関する講演(日本語バージョン)	約	100
5月12日	クイーン・エリザベス号	クイーン・エリザベス号乗船客への講演(英語)	財団の取り組みザトウクジラの保全と調査研究に関する講演(英語バージョン)	約	100
6月1～3日	原野農芸博物館(奄美市)	展示アドバイス	愛媛県宇和島市に漂着した奄美大島のスブネ(丸木舟)の展示について助言。		-
6月13日	オンライン	渋谷区役所障害活躍推進課オンライン講座	サメ・エイ類の進化について解説する(オンライン講座)	約	20
6月19日	八汐荘 屋良ホール(那覇市)	環境講演会	サンゴとサンゴ礁から生物多様性を考える		43
6月29日	福地川海浜公園 他	研究者と挑戦！違いを比べる植物調査	山地と海岸の森林で植生調査を体験する観察会		21
7月8日	水族館イベントホール	国際アジア海棲哺乳類ストランディングネットワーク	沖縄における鯨類のストランディングの事例と取組の紹介		60
7月9～14日	アメリカ(ピッツバーグ)	アメリカ板鯨学会シンポジウム	サメ・エイ類の人工子宮開発についての成果報告	約	200
7月10日	屋我地小学校 他 (名護市)	名護市文化財保存調査委員 現地視察	名護市指定文化財のガジュマル、アコウの老木に関する指定解除などの現地検討		3
7月17～20日	平久保半島 他 (石垣市)	ホソバフジボグサ現地調査及び保全検討	新産地のホソバフジボグサ(国内希少野生動植物種)生息域外保全・野生復帰事業について意見交換、現地調査		15
7月26日	本部小学校	身近な生きものの調査方法	1.南西諸島の成り立ちと本部町の希少な生きものたち 2.写真から行う、昆虫類の種同定		11
7月29日	水族館	視覚障害社会科教育研究会 触察プログラム	教員を対象に、標本を用いたサメの触察模擬授業		30
7月29日	首里城公園	沖縄未来コンサバターズ	首里城の歴史学習、正殿再建工事の見学		16
7月29日	海洋文化館	展示案内・解説	カバ、ピンロウジなど、太平洋地域の嗜好品に関する展示について解説する。		1
8月3～4日	サケのふるさと千歳水族館	美ら海生き物教室	沖縄美ら海水族館のサメやエイについてスライドを用いて解説を行った。		60
8月17日	あまわりパーク	うるまの自然シリーズ「うるまの海博士になっちゃおう！～ウミガメが教えてくれる海中のこと～」	ウミガメの生態と環境問題について解説。その後マイクロプラスチックを利用したキーホルダー作りを実施した。		37
8月20日	沖縄工業高等専門学校	美ら海から学ぶ未来のリーダー養成塾	AIシステムを用いたザトウクジラの個体識別とその有用性について	約	40
8月21日～23日	宮古織物事業協同組合	ラミー糸染色技術指導	天然染料と合成染料によるラミー糸(機械紡績苧麻糸)の染色技法について、理論と実技を行った。		25
8月24日	社会福祉法人雄愛福祉会 おこな愛児保育園	ウミガメとうみごみの話	園児(4～6歳児)向けに、ウミガメと海ごみの話をする。甲羅や頭骨の標本、海ごみサンプルを観察する。		160
8月25日	海洋文化館	久高島と多良間島の魚とり	展示物等についての説明		5

実施日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
8月30-9月2日	神奈川県	つるみちゅうらいイベント講演	沖縄のサメやマンタについてスライドを用いて講演	約	60
8月30-9月2日	神奈川県	つるみちゅうらいイベント講演	沖縄の鯨類についてスライドを用いて講演	約	60
9月3日	琉球大学附属小学校	琉大第附属小学校の授業における講師派遣	中城村の特産品について		36
9月7日	沖縄市	潮乃森ビーチフェスタ	アダンを使った工作体験		31
9月8日-10日	神戸大学	日本哺乳類学会自由集会	鯨類調査におけるAIシステムの開発と利用について講演	約	100
9月9日	財団視聴覚室	名桜大学寄付講座	サメやエイについてスライドを用いて解説		25
9月22日	恩納村博物館	恩納村博物館 令和6年度博物館講座	ウミガメについてスライドと標本を用いて解説		18
9月26日	琉球大学附属小学校	琉大第附属小学校の授業における講師派遣	島にんじん・島だいこんの歴史について		35
9月28-29日	東京ビッグサイト	ツーリズムEXPOジャパン(講演とワークショップ)	海洋ごみが海の生きものに与える影響を講演後、マイクロプラスチックを活用したオリジナルキーホルダー作りを実施		37
10月2日	八重瀬町立新城小学校	ウミガメ講座と環境問題	ウミガメの生態と海洋ごみ問題について		62
10月11日	ベアール楽園・幸寿大学校 (沖縄市)	ベアール楽園・幸寿大学校	沖縄の希少植物の現状と保全	約	30
10月13日	所内	GODAC連携プログラム	サメの解剖実習の講師を行った		8
10月21-22日	伊江島 (伊江村)	国内希少野生動植物種調査協力	国内希少野生動植物の現状と保全に関する調査・ヒアリング対応		4
10月22日	水族館イベントホール	北見藤高等学校	高校卒業後の進路講話を鯨類研究を交えながら紹介	約	150
10月23-24日	伊是名島 (伊是名村)	国内希少野生動植物種調査協力	国内希少野生動植物の現状と保全に関する調査・ヒアリング対応		4
10月24日	所内	とわの森三愛高校研修	サメのCT撮影および解剖を実施		15
10月26日	コンベンションセンター	沖縄県こども未来お仕事体験イベント	ザトウクジラ生態調査と個体識別研究についてお仕事体験	約	30
10月29日	名桜大学 北部生涯学習推進センター	令和6年度名桜大学人間健康学部健康情報学科講義 「食育と健康」	島ヤサイに関する概説		10
10月31日	日本トライボロジー学会講演	日本トライボロジー学会講演	首里城美術工芸品の現状とこれから～修理と人材育成～		200
11月3日	屋親親川公園	第11回屋部川七色にじまつり水辺の生物観察	水辺の生き物観察		30
11月9日	宜野湾市役所多目的会議室	令和6年度文化振興講座「琉球・沖縄の食文化」	沖縄の歴史の中でどのように料理・食文化が発展していったか、現在に伝わる料理、沖縄の年中行事と食文化、琉球菓子についての解説。		34
11月12日	所内(オンライン)	リサーチプロジェクト	サンゴと魚の関係性について		6
11月13日	美ら島自然学校	中央大学商学部・鯉淵賢研究室	財団・総合研究所の活動紹介		12
11月13日	オーストラリア、パース、 コンベンションセンター	第25回国際海棲哺乳類学会	沖縄でのホエールスィム事業によるザトウクジラへの影響評価について、短期的な行動への影響があった結果をポスターで発表		1400
11月19日	安部区公民館図書室	ウニホーガナシについて	安部区の来訪神祭祀「ウニホーガナシ」の概要と歴史について、財団の調査記録と文献をもとに講義した。		2
11月21日	那覇地区職業訓練センター	2024 沖縄ザトウクジラワークショップ	南西諸島のザトウクジラに関する資源、観光産業関連の現状について講演		76
11月29日	沖縄県市町村自治会館 (那覇市)	日本芝草学会2024年度秋季大会シンポジウム	左記シンポジウムのパネリストの一員として、芝草として用いられるシバ属植物の和名の問題について意見と述べた。	約	70
12月1日	京都大学吉田キャンパス	海域アジア・オセアニア研究(MAPS)2024年度若手研究者集会	木造船からわかる海洋文化の多様な技術と文化:これからの文化遺産と研究者の関わり方について		20
12月4日	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	立命館大学 教養科目「文化人類学入門」	人と自然の関わりの多様性から考える人類学		200

実施日	会 場 (市町村)	事業名(講座名)	内 容	参加人数	
12月7日	奄美大島きゅら島交流会館	奄美海域のミナミハンドウイルカとおきなわでの飼育研究：50年の歩み	沖縄美ら海水族館のミナミハンドウイルカの捕獲と搬入、飼育下での研究等について	約	100
12月7日	奄美大島きゅら島交流会館	2024 沖縄ザトウクジラワークショップからの報告と共有	沖縄ザトウクジラワークショップで実施した講演内容(ザトウクジラの保全とスィムツアーによる影響など)の共有と報告	約	20
12月11日	総合研究所	2025 沖縄ザトウクジラワークショップからの報告と共有	沖縄ザトウクジラワークショップで実施した講演内容(ザトウクジラの保全とスィムツアーによる影響など)の共有と報告	約	50
12月12日	所内(オンライン)	北里大学獣医学部 科目「環境計画学」	地域社会と人類学：オセアニアの海洋文化		50
12月16日	那覇市うみそら公園学習室	2026 沖縄ザトウクジラワークショップからの報告と共有	沖縄ザトウクジラワークショップで実施した講演内容(ザトウクジラの保全とスィムツアーによる影響など)の共有と報告	約	20
12月19日	牧志駅前ほしぞら公民館 パソコン室	琉球料理保存協会第24回座学講習会「1950年代の新聞資料等の紹介」	1950年代の新聞や公文書等資料に見える沖縄の食文化と生活改善による簡素化に関する資料を紹介。また御冠船料理の講習会に出た詳細不明の料理について、出席者へ問う。		10
12月20日	オンライン	第3回 種子・胞子・組織培養を使った保全フォーラム	ランの種子保存と保全への利用、環境省と連携した保全事例発表と総合討論。佐藤・徳原は講師、阿部は運営担当として対応。	約	90
12月20日	座間味村コミュニティセンター	学術・世界から見た慶良間のホエールウォッチング	慶良間の保全に根差したホエールウォッチングについて講演とワークショップファシリテーター依頼業務	約	20
12月26日	美ら海水族館イベントホール	冬の海のスーパースター！ザトウクジラ	ザトウクジラの生態や調査について	約	30
1月15-17日	座間味村	座間味村ホエールウォッチング協会調査関連講演	当財団が慶良間で実施する調査に関する情報提供と協力に関する講演	約	40
1月17日	沖縄文化健康センターベアール 沖縄・タビック	ベアール楽園・幸寿高等学校の第9期生講座	沖縄の海の環境		25
1月18日	美ら島自然学校	琉大ハカセ塾	ウミガメの生態と砂浜環境について		24
1月20日	渡嘉敷村役場 大会議室	学術・世界から見た慶良間のホエールウォッチング	慶良間の保全に根差したホエールウォッチングについて講演とワークショップファシリテーター依頼業務	約	20
2月2日	あまわりパーク歴史文化施設 (多目的室)	「伝統を楽しむ旧正月 子どもカープヤーをつくってみよう」	子ども風カープや作り		21
2月8日	水族館ザトウクジラ特設展と バルコニー	ザトウクジラ学習観察会「クジラボ！」	水族館のザトウクジラ特設展で生態を開設し、外のバルコニーでザトウクジラの探し方を学びながら、実際に観察も実施	約	40
2月9日	本部町立体育館	令和6年度子ども科学技術人材育成事業	有孔虫に関する講義と工作		26
2月14日	長島・平島 (名護市)	辺野古長島・平島の現地確認調査	長島・平島の地質、生物等の総合調査を行った。	約	10
2月16日	見花原遊歩道 (渡嘉敷村)	令和6年度慶良間諸島国立公園における指定植物普及啓発等業務	渡嘉敷島の慶良間諸島国立公園内で自然観察会を行い、保護すべき植物群落や植物種、それらがくむ地形や地質との関係を解説する。		17
2月20日	所内	総合的な学習の時間における沖縄フィールドワーク	サンゴの生態や研究について		4
2月22日	水族館ザトウクジラ特設展と バルコニー	ザトウクジラ学習観察会「クジラボ！」	水族館のザトウクジラ特設展で生態を開設し、外のバルコニーでザトウクジラの探し方を学びながら、実際に観察も実施	約	40
2月26日	財団本部複視聴覚室	2025年沖縄北部ホエールウォッチング協会臨時総会「スィムツアーに関する意見交換会：背景となる情報」	沖縄北部エリアのスィムツアーを今後継続するか否かを協会員が判断する際の科学的根拠について事業者の方々に情報共有	約	20
2月28日	阿嘉島さんごゆるる館	ホエールウォッチングフェスタ2025「ザトウクジラってどんな生き物？どうやって調査するの？体験しながら一緒に学ぼう！」	座間味村(阿嘉島・慶留間島・座間味島)の小学5,6年生に、ザトウクジラの基礎と調査についてワークショップ形式で講演	約	20
2月28日	座間味島コミュニティセンター	ホエールウォッチングフェスタ2025「最新の研究成果からザトウクジラの世界を覗く ザトウクジラの興味深い生態と保全の重要性」	ザトウクジラに関連する最新の研究成果と保全の重要性について講演	約	50
3月8日	沖縄県緑化推進委員会みどり会館 (南風原町)	第6回日本樹木医会沖縄県支部研修会	沖縄島におけるソテツシロカイガラムシの被害実態とその防除について研修会を実施した。		12
3月12日	ホテルマハイナ 津梁の間	A brief tour on humpback whales in Okinawa. Researches and conservation efforts!	スイスからの高校生に対して、ザトウクジラの最新研究と保全に関する取り組みを英語で講演	約	20
3月15日	沖縄尚学高等学校・附属中学校 (那覇市)	職業講話	沖縄尚学高校および附属中学校において職業の講話をそれぞれ1回ずつ、パワーポイントを使用して行った。		80
3月16日	スターバックス沖縄本部町店	ザトウクジラ学習会	スターバックス本部町店来店者に対して、バルコニーにてザトウクジラの生態を解説し、陸上からのザトウクジラの探し方を学んだ	約	20
3月16日	沖縄美ら海水族館 イベントホール	おきなわアジェンダ21県民会議 親子セミナー	サンゴと生物多様性についての講演および沖縄美ら海水族館見学(館内は自由見学)	約	20

表-2 各種会議・委員会・協議会等一覧

実施日	会 場 (市町村)	事業名	内 容	参加人数	
4月3日	メイクマン浦添本店 (浦添市)	第46回沖縄らん展示会 審査会	沖縄県蘭協会・沖縄タイムス社主催の同展示会の審査会において、審査員として招聘され出展ランの審査を行った。		20
5月11日	針谷第二ビル(貸会議室) (東京都文京区)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌第99巻4, 5号の編集と、3号の最終校正を行い、100巻記念号以降の刊行方針などについても検討を行った。		14
5月18日	沖縄県緑化推進委員会 みどり会館 (南風原町)	令和6年度日本樹木医会沖縄県支部 通常総会	令和5年度の事業および収支報告、令和6年度の予算案の審議を行った。		20
5月25日	オンライン	北太平洋全域でのザトウクジラ共同研究プロジェクト: SPLASH-2	MOUの内容、共同研究の内容について議論		22
5月27日	オンライン会議	令和6年度第1回沖縄県自然環境保全審議会	事業者からの各種許可申請及び事業変更に関する審議を行った。	約	20
6月6-8日	かがわ国際会議場(高松市)	一般社団法人日本樹木医会 香川大会	総会に出席し、2年後の沖縄大会の準備に向けた調整を行った	約	300
7月6日	貸会議室 (東京都)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌の編集と校正、並びにオンライン化に伴う諸規則の変更などの検討		14
7月16日	名護博物館 (名護市)	令和6年度第1回文化財保存調査委員会	名護市指定文化財について審議、報告、検討		12
7月30日	所内 (WEB会議)	沖縄県版レッドデータブック第4版 保全が必要な生息地等ワーキンググループ会議	沖縄県レッドデータブックの改訂に伴う、保全が必要な生息地に関する審議、検討		18
8月1日	所内 (WEB会議)	令和6年度外来種対策対策事業(植物対策)第1回作業部会事前説明	令和6年度外来種対策対策事業(植物対策)第1回作業部会の議論内容に関する説明と議論の進め方についての調整		4
8月6日	名護市産業支援会館	令和6年度外来種対策対策事業(植物対策)第1回作業部会	沖縄県のツルヒヨドリとアメリカハマグルマの今年度の防除計画実施状況の説明と今後の計画に関する議論	約	30
8月8日	所内 (WEB会議)	沖縄県版レッドデータブック第4版 編集委員会	沖縄県レッドデータブックの改訂に伴う、編集方針、作業内容、計画などの検討	約	20
8月13日	所内 (WEB会議)	名護市事業 指定文化財樹木の現地確認・識者ヒアリング	名護番所跡のフクギ群に関する道路整備事業の影響検討	約	10
8月23日	所内 (WEB会議)	生態系被害防止外来種リストの見直しに係る検討会植物WG会合	国の生態系被害防止外来種リストの植物分野での見直しに関わる会議		18
8月28日	所内 (WEB会議)	環境省事業 世界自然遺産科学委員会 科学委員会事前ヒアリング	遺産登録地の維持、包括的管理計画などのヒアリング対応	約	6
8月30日	所内 (WEB会議)	令和6年度外来種対策対策事業第1回検討委員会	沖縄県で進められる外来種対策の各種事業の報告と方向性についての議論	約	40
8月30日	所内 (WEB会議)	環境省事業 世界自然遺産科学委員会 モニタリング手法ヒアリング	遺産登録地の維持・管理に関する森林及び希少植物等のモニタリング手法に関するヒアリング対応	約	5
9月7日	東京都台東区上野5-4-1(貸会議室)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌の編集と索引スケジュールの決定、最終校正、オンライン化に伴う諸規則の変更などについて検討を行った。		12
9月30日	Webヒアリング	横浜町風力発電事業 環境影響評価準備書(案)有識者ヒアリング	環境影響評価準備書の事前自然環境調査の植物関係の事項に関して、有識者の立場からコメントを行った。		3
10月29日	オンライン会議	保全が必要な生息地等ワーキンググループ会議(沖縄県版レッドデータブック編集事業)	保全が必要な生息地等に関する方針、評価、選定、執筆要領について検討		15
11月2日	貸会議室 (東京都台東区)	植物研究雑誌編集会議	表紙ページデザインの決定、編集、最終校正を行い、諸規則の変更などについても検討を行った。		12
11月21日	伊平屋村役場 (伊平屋村)	第1回ナゴラン関係者連絡協議会	沖縄県指定希少野生動物植物種ナゴランの保護保全事業について、取組み方針や連携体制について協議を行い、有識者の立場からコメントをした。		6
11月22日	所内 (オンライン)	青森県上北地域中宇樽部沢外環境調査 植物調査学識者ヒアリング	環境調査の植物関係の事項に関して、有識者の立場からコメントを行った。		4
12月19日	福井県AOSSA会議室	福井県イルカ被害対策専門家検討委員会	福井県の海水浴場に出現するミナミバンドウイルカの被害対策に関して鯨類専門家としての意見・説明	約	10
12月25日	奄美市市民交流センター (奄美市)※遠隔参加	令和6年度第1回 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産地域科学委員会	世界自然遺産登録地におけるモニタリング結果報告、包括的管理計画の改定に向けた検討など、有識者の立場からコメントをした。	約	80
1月11日	貸会議室 (東京都)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌第100巻の2号の編集と1号掲載予定論文の最終確認、99巻索引を含めた99巻6号の反省。		11
1月17日	奥武山運動公園 武道館アリーナ (那覇市)	第37回沖縄花き品評会	切花、観葉植物などの品評会に審査員として招聘され、審査を行った。		30
1月21日	所内 (WEB会議)	生態系被害防止外来種リストの見直しに係る検討会植物WG会合	国の生態系被害防止外来種リストの植物分野での見直しに関わる会議。		18
1月23日	所内オンライン	福井県イルカ被害対策専門家検討委員会	福井県の海水浴場に出現するミナミバンドウイルカの被害対策に関して鯨類専門家としての意見・説明	約	10

実施日	会 場 (市町村)	事業名	内 容	参加人数	
1月28日	所内オンライン	アメリカ音響学会ワークショップ運営委員会議	2025年12月に米国ハワイ州で開催される学会ワークショップの運営員として、講演者の選出や運営についての意見・協議		5
1月30日	名護市産業支援会館 (名護市)	令和6年度外来種対策対策事業(植物対策)第2回作業部会	沖縄県のツルヒヨドリとアメリカハマグルマの今年度の防除計画実施状況の説明と次年度の計画に関する議論。	約	30
2月4日	所内(Web)	令和6年度第4版沖縄県版レッドデータブック編集委員会(通算第5回)	沖縄県版レッドデータブック第4版編集のスケジュールと執筆内容に関して議論を行った。	約	20
2月13日	所内(Web)	令和6年度外来種対策対策事業第2回検討委員会	沖縄県で進められる外来種対策の各種事業の報告と方向性についての議論	約	40
2月18日	所内	北大東(4)環境現況調査に関するヒアリング	北大東島で予定されている施設建設に伴う絶滅危惧生物やその生育環境への影響について、植物分野の専門家として助言を行った。		3
2月18日	所内(Web)	世界自然遺産登録地 希少植物の生育状況把握に関するモニタリング指標のヒアリング	世界自然遺産登録地における植物のモニタリング方法、対象種、対象地、並びに西表島の野営ツアーに関する議論を行った。	約	10
2月28日	所内(Web)	環境省と日本植物園協会との協定事業の推進に係る意見交換会	植物園協会と環境省の連携等の取り組み、生物多様性推進協定事業の今後の方向性について意見交換を行った。阿部は同協会の植物多様性保全委員として参加。	約	10
3月1日	貸会議室 (東京都台東区)	植物研究雑誌編集会議	植物研究雑誌第100巻の3号の編集と1号掲載予定論文の最終確認、100巻1号の反省。		15
3月6日	Web会議	沖縄県希少野生生物保護推進事業 検討委員会(第9回)	今年度の実施報告、新規指定種検討、次年度の計画について議論した。		15
3月11日	Web会議	環境省世界遺産に関する業務ヒアリング	世界自然遺産登録地における植物に関するモニタリング指標について有識者としてヒアリングを受けた。		10
3月25日	所内オンライン	Asia/Australia Pre-PVA March Meeting	絶滅危急種シノメサカタザメの調査研究機会の創出、個体群管理、これらに関連する資金調達について議論した	約	50

表-3 執筆一覧

事業名	内 容	備考
沖縄タイムス「唐獅子」へコラム掲載	琉球文化財に関するコラム	8月中3回掲載
沖縄タイムス「唐獅子」へコラム掲載	琉球文化財に関するコラム	9月中3回掲載
八重山毎日新聞へコラム掲載	当財団共催「沖縄の染と織の至宝ー桃原用昇コレクション八重山展ー」の染織作家9名に関するコラム	10月中9回掲載
名護市広報誌「HIROBA」3月号 名護市の自然 コラム執筆	名護市の希少植物(ナンゴクヤツシロラン)の現状について執筆	